

平成 30 年度 協力隊 OB と留学生が先生

～見える・学べる・世界の国々～

事業実施レポート

目次：

(1) 国際理解って？

(2) 帰国した青年海外協力隊

(3) 小学校で

(4) 中学校で

(5) 事業実績

(6) 先生方の声



(1) 国際理解って？

私たちの生活を振り返ると、海外との関係なしでは成り立たないことばかりです。食品や燃料はもちろん、衣類・家電製品など、それらの原料や労働力は世界の国々・人々に支えられています。また、鹿児島に住む外国人の方も増えています。その国の人々やその国の現状を知ることは、私たち自身を知ることでもあるのです。

国際理解とは、私たちの生活と世界がどのようにつながっているのかを知り、その中で世界が抱える課題を自分事として共有することではないでしょうか。

実際に外国で生活していた日本人の話や、鹿児島で生活している外国人の話を聞いて、一緒に世界のこと、日本のことを考えてみましょう。



(2) 帰国した青年海外協力隊員

青年海外協力隊とは、開発途上国支援のため独立行政法人国際協力機構（JICA）が行っている派遣事業のひとつです。50年以上の長い歴史があり、これまでに4万5千人を超える日本の青年が世界各地で活動してきました。

鹿児島県出身の青年海外協力隊員も多く、2018年12月31日現在42名が世界31カ国で活動しており、帰国した青年海外協力隊員は、800名を超えました。

青年海外協力隊の主な目的の一つに、ボランティア経験の社会還元があります。帰国後はその経験を活かし、青年海外協力隊鹿児島県OB会の一員として、帰国報告会を実施したり、県内各地のイベントへ参加したりと、積極的に活動しています。



砂の祭典 外国文化の紹介



鹿児島大学 体験談発表



南種子町ふるさと祭り 協力隊活動紹介



湧水町高原フェスタ フェアトレードコーヒー試飲



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(3) 小学校で…

知らない国の、聞いたこともない嘘のような本当の話。

インターネットの普及で、今日ではより簡単に、世界中の様々な情報が得られるようになりました。しかし、多感な時期にある小学生にとって、教科書やテレビからの情報ではなく、直接、青年海外協力隊経験者の体験談を聞いたり、留学生と交流したりすることが与える影響は大きく、改めて身の回りの環境や世界に目を向けるきっかけとなっているようです。

こういった出会いが、きっと新しい気付きや意欲的な学びへとつながるでしょう。



フノ・ジョンヒさんへ

この前は、私達のために、生福小へ来て下さり、ありがとうございました。私は「いつか、韓国へ行ってみたい」と思っていました。でも、この前韓国の音を聞いてから今までは、「韓国へ行きたい」と思いました。大人になってから、行けたら韓国へ行きたいです。ありがとうございました。

いちき申木野市立生福小学校 (6) 年 名前 ()



ボリビアの生活に興味津々

西之表・古田小で協力隊OB授業

西之表市立古田小学校で、青年海外協力隊OBの授業が行われました。授業では、ボリビアの生活や文化について、協力隊OBの経験者から話を聞きました。また、ボリビアの国旗や文化の写真を展示し、子どもたちは興味津々で話を聞いていました。

1999年から2年とボリビアで生活した経験者から、ボリビアの生活や文化について話を聞きました。また、ボリビアの国旗や文化の写真を展示し、子どもたちは興味津々で話を聞いていました。

ネパールに行ったら、やさしいネパール人と話をしたいです。理由は笑顔が大好きだからです。自分だけじゃなくて世界中の人たちもえがおで明るくしたいです。

児童感想(一部抜粋)

ありがとう

モルデブの文化や生活について、先生から話を聞きました。とても面白かったです。また、モルデブの国旗や文化の写真を展示していただきました。ありがとうございました。

モルデブの文化や生活について、先生から話を聞きました。とても面白かったです。また、モルデブの国旗や文化の写真を展示していただきました。ありがとうございました。



青年海外協力隊
本田 隆一様

ありがとうございました。

今日授業をして、今まで「トンガ王国」聞いたことも見たこともなかったので色々知りました。私が印象に残ったのは「海」です。砂浜がサングのかけらで、海が青とあって、印象に残りました。トンガ王国を知れてよかったです。

6年



ラオスでは子供たちが水を汲みに行ったり、市場でものを売ったりするということを聞き、日本ではまったく考えられないことを知りました。

児童感想(一部抜粋)



平成30年度「協力隊 OB と留学生が先生」

巖 先生へ

今日は、中国のことについて教えてくれたこと、ありがとうございました。中国の言葉もとても面白かったです。中国の文化についても教えてくれました。ありがとうございました。中国の文化についてもっと知りたいです。今日はありがとうございました。

志布志市立原田小学校 6年



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～

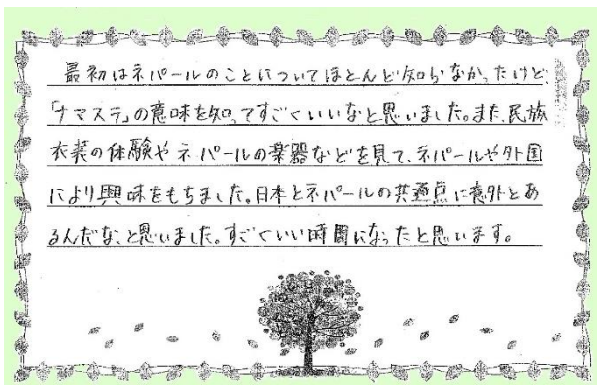


(4) 中学校で…

国際協力について、自ら考え、実行に移すこともできる年齢の中学生。

時には講話だけでなく、ワークショップを通して課題を見つけ、解決に向けて主体的に考える力を育成するための授業も実施しています。

そろそろ進路についても考え始める感受性豊かな年代の彼らにとって、青年海外協力隊経験者が歩んできた道や、故郷を離れ日本で生活する留学生の話は、異文化理解としてだけでなく、自分の生活や将来について見つめなおすきっかけとなっているようです。



ボツワナでは象が道路を歩くなど、日本では考えられないことがあるのだと知り、とても興味がわきました。
生徒感想 (一部抜粋)



世界には、ぼろぼろの教科書を使っている子供たちがいると聞いて、自分用の教科書があることが当たり前ではないということに改めて気づくことができました。
生徒感想 (一部抜粋)



「私たちは世界とどのようにつながっているのだろう」

協力隊 OB と留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～

2年1組 番 氏名

◆ 講話を聞いたことによって、どのようなことを知り、考えたでしょうか、感想を書きましょう。

私が一番に思ったことは、私たちが普通じゃないことも、国によっては普通で、私たちが普通のことでも国によっては普通ではないこともあるということです。自分の世界観だけで、他国の文化などを見てはいけないと思いました。そして、常田さんが話してくれた、マリロンのことでは、みんな仲が良く、いじめがないということに、すごい所だなと思いました。そして、この学校もみんなが仲の良い学校になってほしいと思います。



国際理解学習 感想

2年 氏名

～田中久雄さんの講話を聞いて～ (青年海外協力隊 OB・インドネシア派遣)

今回、田中さんの話を聞いて、目玉焼きやせんべい、チャーハンなど日本人と変わらないなと思いました。家においのりの部屋があるのも、日本の家に仏壇があるのと同じように、宗教を大事にしてるんだなと思いました。インドネシアに行く機会があれば、今回聞いた話を参考にして楽しみたいです。

ネパールの数字の読み方や会話など、聞いたことがない言葉ばかりでしたが、日本との共通点があることに驚きました。民族衣装は華やかで、民族楽器は自然のものが使われていて、すごいなと思いました。 生徒感想 (一部抜粋)



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(5) 事業実績

敬称略

区分	市町村	学校名	講師	
			JICA OB/OG (派遣国)	在住外国人 (出身国)
鹿児島市 教育委員会	鹿児島市	本名小学校	本田 隆一 (トンガ)	—
		皇徳寺小学校	近森 章 (ラオス)	—
		吉田小学校	塚田 拓 (コスタリカ)	オ リチラン (中国(内モンゴル))
		宮小学校	本田 隆一 (トンガ)	—
		牟礼岡小学校	上野 陽子 (バヌアツ)	景 徳 (中国)
		武岡小学校	桑山 昌洋 (ボツワナ)	—
		中洲小学校	近森 章 (ラオス)	—
		黒神小学校	徳峰 みゆき (ブラジル)	—
鹿児島 教育事務所	いちき串木野市	生福小学校	内田 暁子 (中国)	申 定姫 (韓国)
		荒川小学校	本田 隆一 (トンガ)	米田 智美 (台湾)
南薩 教育事務所	指宿市	大成小学校	外西 朋子 (ネパール)	吉田 ディエゴ (ペルー)
		南九州市	清水 小学校	外西 朋子 (ネパール)
北薩 教育事務所	阿久根市	脇本小学校	外西 朋子 (ネパール)	—
		出水市	出水 中学校	外西 朋子 (ネパール)
	薩摩川内市	下水流小学校	桑山 昌洋 (ボツワナ)	申 定姫 (韓国)
		中津小学校	新井 博美 (ナミビア)	—
	さつま町	山崎小学校	田中 久雄 (インドネシア)	—
始良・伊佐 教育事務所	霧島市	竹子小学校	竹野 愛 (タイ)	—
		菱刈中学校	竹野 愛 (タイ)	カンドル フラサド (ネパール)
	伊佐市	大口東小学校	田中 久雄 (インドネシア)	滕 詩佩 (中国)
		南永小学校	竹下 晴子 (ケニア)	—
湧水町	吉松中学校	田中 久雄 (インドネシア)	ベネジー チボー (フランス)	

区分	市町村	学校名	講師	
			JICA OB/OG (派遣国)	在住外国人 (出身国)
大隅 教育事務所	鹿屋市	東原小学校	新井 博美 (ナミビア)	ゴメス ターニャ (エクアドル)
		野里小学校	田中 久雄 (インドネシア)	—
		高隈小学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	—
	曽於市	大隅北小学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	—
	志布志市	原田小学校	瀬角 龍博 (ガーナ)	叢 瑋 (中国)
		南大隅町	根占中学校	桑山 昌洋 (ボツワナ)
	熊毛 教育事務所	西之表市	古田小学校	関 鉄弥 (ポリビア)
中種子町		増田小学校	渡部 明子 (アルゼンチン)	—
屋久島町		神山小学校	渡辺 忠 (コートジボワール)	二宮 ロザリнда (フィリピン)
大島 教育事務所	宇検村	田検小学校	アルカンタラ 有矢乃 (ドミニカ)	アルカンタラ ティオス (ドミニカ)
	喜界町	喜界中学校	アルカンタラ 有矢乃 (ドミニカ)	—
		伊仙町	阿権小学校	照屋 真澄 (ペルー)
	面縄小学校		照屋 真澄 (ペルー)	—
与論町	茶花小学校	徳峰 みゆき (ブラジル)	—	
特別支援 学校	鹿児島市	鹿児島養護学校	新井 博美 (ナミビア)	景 徳 (中国)

**平成 30 年度実施 : 38 校
(22 市町村)**



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(6) 先生方の声 (一部抜粋)

【先生方が抱えている問題など】

- ❖ 地域の特性もあり、外の世界を知らない生徒が多く、また外国の人たちを軽視する傾向にある。このような講座も心配な点はあったが、第一歩としてとらえ、根気強く指導していきたい。
- ❖ 島内に国際理解教育の講座等をしてくださる人材のリストがなく、アプローチが難しい。
- ❖ 外部の講師を招聘するための予算や時間を確保するのに苦労している。毎年、定期的に招聘できるのであれば、系統的に教育課程に位置付けることができる。
- ❖ 子どもたちにとっては、まだ世界の国の情勢が身近に感じられていない。領土問題やその他外国との関係により関心をもってほしいが、小学生にはまだ世界は遠いように感じる。
- ❖ 一部の職員のみが力を入れても、学校全体として、あるいは子ども全体として関心を高めることは難しいと考える。職員研修でさらに時間をとって国際理解教育の実践がスムーズにいくような形にもっていくことも必要だと思う。

【授業を終えて…】

- ❖ 子どもたちはとても興味深く講師の話聞いていた。特徴的なその国の言葉や実際に持ってこられた民族衣装など、心に残ったようだった。
- ❖ 普段の生活では体験できないこと、見ることでできないものを体験したり見たりすることができ、視野を広げる良い機会になった。
- ❖ 発展途上国での生活について詳しく知ることができ、日本という国に生まれたことを有り難く思い、自分のこれからの生き方について考える大切な時間となった。
- ❖ 1年生から6年生までと幅があったが、講師の配慮のおかげで全学年の子供たちが最後まで意欲的に学ぶことができた。また、高学年にとってはキャリア教育の視点でも参考になる内容だった。
- ❖ 講座が大変興味をひく内容だったため、子供たちはもちろん、教職員も勉強になる内容だった。



実行委員会構成団体



鹿児島県青年海外協力隊を支援する会
<http://www.kagojocv.com/>



JOCV Kagoshima
青年海外協力隊鹿児島県OB会



公益財団法人鹿児島県国際交流協会
<https://www.kiaweb.or.jp>

「協力隊 OB と留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業 実行委員会

〒892-0816

鹿児島市山下町 14 番 50 号 かがしま県民交流センター1 階 公益財団法人鹿児島県国際交流協会内

電話❖ 099(221)6620 FAX❖ 099(221)6643 MAIL❖ kia@kiaweb.or.jp